

委員会提出議案第6号

教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書の提出について

上記の議案を、亀山市議会会議規則第13条第2項の規定により、別紙のとおり提出します。

令和3年9月28日提出

提出者

教育民生委員会委員長 森 美和子

亀山市議会議長 中 崎 孝 彦 様

別 紙

教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書

教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書

子どもたちの姿を出発点とした主体的で協働的な「豊かな学び」を実現するためには、教職員定数の改善が、最も重要な環境整備の一つだと考えます。

2021年4月、国の学級編制の標準が40年ぶりに引き下げられ、小学校35人学級が実現しましたが、今年度は加配定数を振り替える形で行われており、教職員数の実質増となってはいません。また、今後5年間で2年生から順次引き下げるとしてはいますが、中学校や高等学校等については、現時点においては、学級編制の標準の引下げはありません。

国際的な比較においても、日本の1クラス当たりの児童生徒数は小学校27人、中学校32人で、2020年経済協力開発機構（OECD）公表値（小学校21人、中学校23人）と比較すると、どちらも大きく上回っている状況であり、小学校のみの改善に留めることは合理的ではないと言わざるをえません。

教職員が心身ともにゆとりを持って子どもたちと向き合い、日々の教育活動を創り出していくことは、子どもたちの「豊かな学び」の保障につながる基盤となるものです。子どもたちが安心・安全に学べるようにするためにも、さらなる学級編制の標準の引き下げと、基礎定数と加配定数をともに改善する新たな教職員定数改善計画の策定と実施が強く望まれます。

教育の今日的課題の複雑化・多様化による学校現場の業務量は、増加の一方であり、「学校における働き方改革」が叫ばれる中、人的配置をはじめとする財政措置は、未だ不十分であると言わざるを得ません。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、保護者が子どもたちを学校へ通わせるためには、マスクや消毒液等の感染対策に係る保護者の経費負担は確実に増加しており、ICTに関する費用も、新たな保護者負担として生じています。公財政として措置される教育予算を拡充し、教育条件整備を進めていくことが、山積する教育課題の解決へとつながり、そして、子どもたち一人ひとりの「豊かな学び」を保障することになると考えます。

よって、政府におかれては、下記の事項を実現されますよう強く要望いたします。

記

1. 子どもたちの「豊かな学び」の保障に向け、教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和3年9月28日

三重県亀山市議会議長 中 崎 孝 彦

内閣総理大臣	菅	義	偉	様
財務大臣	麻生	太郎	様	
総務大臣	武田	良太	様	
文部科学大臣	萩生田	光一	様	
衆議院議長	大島	理森	様	
参議院議長	山東	昭子	様	